

事務事業名		小中学校教材備品整備事業		所属部	教育委員会	所属課	学校教育課	
総合計画体系	政策名	〈IV〉ふるさとを学び育つまち〈教育・文化〉		所属G	義務教育グループ	課長名	伊藤 慶	
	施策名	〈26〉学校教育の充実		担当者名	堀江 亮次	電話番号	0854-40-1072	
	目的・対象	児童・生徒	意図	基礎基本(知・徳・体)の発達を促し、生き抜く力を身につける。				
	基本事業	〈076〉すべての子どもにわかりやすい授業づくりの推進		予算科目	0:150:0:2	大事業名	小(中)学校教育振興事業	
目的・対象	児童・生徒	意図	学習意欲が高まる。				(内線)	2281
					0:150:0:2	中事業名	小(中)学校教材備品整備事業	
					-100:5	業名	備事業	

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
児童生徒・教職員	教育環境の充実

③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)

事業期間	教材備品の購入及び管理を行う。 (令和5年度)スポーツ・文化の振興を行うため、追加で備品の整備を行う。
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	

④ 主な活動

R5年度実績(R5年度に行った主な活動)

1. 学校への予算配分及び教材備品の予算配分の取りまとめ
2. 学校からの購入伺・検査調書の書類審査・支払
3. 備品の要望とりまとめ
4. 入札事務・納入確認・検査書類作成
5. 県、国からの備品に関する調査・報告
6. 廃棄備品の事務処理(学校⇒教委・書類審査)
7. 備品台帳の管理(学校備品)

⑤ これまでの改革・改善経緯

(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)

入札を学校教育課で一括で実施することで、コスト減・事務負担の軽減を図った。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
ア 整備校数	校	22	22	22	21
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)	② コストの推移	単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
需用費 1,877千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
備品購入費 18,718千円		県支出金	千円			
(内訳) 小学校教材備品 9,935千円		地方債	千円			
中学校教材備品 8,783千円		その他	千円			13,751
		一般財源	千円	3,261	5,231	6,844
	事業費計	千円	3,261	5,231	20,595	8,200

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	・市内小中学校の教材備品が整備できた。 ・各校でスポーツ・文化に関する備品の整備を行った。(管楽器、スポーツ備品・遊具等)
② 事業実施するうえでの課題	限られた予算の中で、優先度の高い備品の整備はできていると考えられる。 また、教材備品はその年度の教員の考えによって左右されることが多く、数年でまったく使用しない備品、使用できない備品などがあることから、課題が残る。
③ 課題解決に向けた改革改善等	共有化できる教材備品や、各校で配備される必要がある備品等を整理し、限られた予算内で整備した備品を有効に活用できる環境を整える必要がある。